

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

実施者

KDDI スマートドローン株式会社

取組概要

取組名：ドローンインフラを活用した地域活性化
実施地域：埼玉県秩父市
アクティビティ種別：②農地集積・集約化等、地域課題に関して地域の合意形成を促進する取組
取組形態：☒直接的貢献 ☐間接的貢献
取組実施日・期間：2025年12月～

取組詳細

取組の目的・ 解決したい課題

秩父市は市域の約87%を森林が占める自然豊かな中山間地域である一方、少子高齢化や人口減少に伴う人材不足が進行している。特に、シカやイノシシ、サル等による農業被害に加え、クマの目撃情報も増加しており、地域住民の安全や農林業、観光への影響が懸念されている。また、急峻で広大な地形により現地確認や対策には多くの労力を要するほか、担い手である猟友会等の高齢化も進み、従来の人手に依存した鳥獣対策は限界を迎えつつあると考えられる。

そこで、自律飛行型AIドローンと自動離着陸・充電が可能なドローンポートを現地に常設し、遠隔操作ルームから一元遠隔運航管理を行う体制を整備する。これにより、自治体や住民に操縦等の人的負担をかけることなく、野生鳥獣の監視や追い払い業務の省力化・高度化を図ることで、住民や猟友会の負担軽減と地域の安全確保を実現するとともに、持続可能な農山村振興につながる鳥獣被害対策モデルを構築する。

インプット

- ✓ ドローンポート（ドローン機体を含む。）の設置
- ✓ 専門人材の投入（プロジェクト管理、ドローン運航管理）
- ✓ 衛星ブロードバンド通信（Starlink）の設置

アクティビティ

- ✓ ドローンポート及び通信環境の構築
- ✓ 遠隔自律飛行による鳥獣の生息状況調査及び監視
- ✓ 地域関係者（市）への定期報告会の実施

今後の展望

- ✓ 長期的には、本取組で確立した「通信・ポート・AI」を組み合わせた鳥獣対策ソリューションをパッケージ化し、同様の課題を抱える全国の中山間地域へ横展開する。
- ✓ 秩父市内に設置したドローンインフラの対象ユースケースを鳥獣対策のみならず多用途に拡大し、地域レジリエンスの向上に貢献する。